

令和5年度 こども園評価表

( 中間・最終 )

竹原市立たけのここども園

基本理念及び教育・保育方針	「生きる力」を育成するために調和的な成長を図り、保護者や地域の期待に応える。	教育・保育目標	夢をもち 心豊かにたくましく生きる子供の育成	めざす子供像	げんきな子 やさしい子 がんばる子
---------------	--	---------	------------------------	--------	-------------------

評価計画					自己評価				こども園関係者評価			改善方策	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	目標値	担当	10月	2月	評価	結果と課題の分析	評価			コメント	改善方策
					達成値	達成値			イ	ロ	ハ		
げんきな子 成長する喜びや健康への関心を高める。	食事のマナーの確立を図る。健康な体づくりを推進する。	①3歳以上は、「竹原市すくすくプラン2020」(令和6年)の目標値に近づける。 3歳一歯プランが正しくもてる(12.2%) 4歳一箸が正しく持てる。(34.0%) 5歳一箸が正しく使える。(57.0%)	100%	主任	92%	100%	A	①6月、9月、1月と、定期的に記録をとった。記録をとるたびに、課題を洗い出し、視覚教材を使うなど、改善方策を考えて実践することにより、全学年、目標値に達することができた。	○			①今後も「竹原市すくすくプラン2020」を意識して園児にかかわり、視覚教材や家庭への啓発を続けていく。 ②休日前に遅く寝る園児や、朝食を食べてこない園児もいるので、引き続き、なぜ早寝早起きが大切なのか、朝ご飯を食べないとうなるのかを知らせていく。	
		②早寝・早起き・朝ごはんがばりひょうを年4回実施する。(6月・8月・10月・2月)	100%		100%	100%	A	②計画通り実施することができている。	○				
がんばる子 最後まであきらめない力を、年齢に応じて育む。	自己選択、目標の意識化、振り返りの場のある保育を実施する。	①振り返りを週に2回以上し、職員会議で共有する。	100%	主任	100%	100%	A	①各クラスで計画通りに振り返りを行った。職員会議での共有については、会議で時間が取れないことが多く、振り返りの内容を閲覧することで実施できた。	○			①引き続き、園児が主体的な活動をしていくために、各クラスで活動の振り返りを行う。職員間での共有については、時間の制限もあるので、情報共有の仕方について再検討する。 ②引き続き、体を動かす前に体操を取り入れ、ケガの予防に努める。また、体を動かす楽しさを知らせていく。	
		②学期に1回運動遊び月間をもうける。(5月・9月・1月)	100%		100%	100%	A	②内容の変更はあったが、計画通り実施できた。	○				
やさしい子 互いの気持ちや考えを伝え合ったり折り合いをつけたりして、よい関係をつくっていく。	関わり合う気持ちを育てる。	①聞く力の年齢別指標のA評価を1月までに70%以上にする。(5月・9月・1月)	100%	主任	71%	100%	A	①絵本を通して各クラスの実態に合わせた活動を行うことで、年齢別指標のA評価の70%を達成することができた。主体的な遊びをする中で、聞く力だけでなく、自分の考えや思いを伝える、話すといった表現する力の向上も必要である。	○			①今後も「聞く力」を意識しながら活動を行っていく。保育教諭や友達の思いを聞き、自分の考えや思いを伝え、話して主体的に遊ぶことができるようにしていく。 ②引き続き、生活の中で気持ちの良い挨拶ができるよう園児にかかわり取り組んで行く。	
		②気持ちの良いあいさつができる園児を75%以上にする。(5月・9月・1月)	100%		80%	100%	A	②2、3学期に「挨拶週間」を実施したことで、意識して挨拶をする姿が増え、目標を達成することができた。	○				
信頼される園 地域・保護者に信頼され貢献する園になる。	園の方針、教育・保育内容を保護者に周知し、理解を図る。	①園だよりを毎月、クラスだよりを学期に1回発信する。	100%	主任	100%	100%	A	①園だより、クラス便りについては計画通り発信することができた。園児の頑張っている姿や日々の活動の写真を多く取り入れて、園児の様子を保護者に分かりやすく伝えるようにした。	○			①今後も園児の日々の様子や活動内容について園だより、クラス便りで保護者に分かりやすく伝えていく。 ②育児サークルについては、来年度も月に1回実施できるよう計画していく。子育て支援活動については、来年度も引き続き実施できるように連携をとる。 ③教育及び保育の自己評価については、来年度も実施できるよう計画していく。また子育て支援事業についてはアンケートでいただいた意見を今後の活動に生かしていく。	
		②子育て支援活動を学期に3回以上実施する。	100%		100%	100%	A	②計画通りに育児サークルや子育て支援活動を行うことで、学期に3回以上実施することができた。	○				
		③教育及び保育並びに子育て支援事業について自己評価を年2回実施する。	100%		100%	100%	A	③計画通りに自己評価を実施することができた。教育及び保育については前期後期で自己評価を実施した。子育て支援事業については、参加者にアンケートを配布して自己評価を行った。	○				
幼保小連携 こども園から小学校への円滑な接続を図る。	相互の教育・保育内容や児童・園児の様子を連携し、理解を図る。	①研修会に年3回以上参加し、学んだことを職員に周知する。	100%	主任	100%	100%	A	①竹原市が実施する研修会にすべて参加した。その内容についてその都度、職員会議等で周知した。	○			①来年度も予定される研修会に参加をして学んだことを他の職員にも周知し、園全体で小学校との円滑な接続を意識できるようにする。 ②来年度は竹原小学校や竹原西小学校の児童との交流活動を実施できるように連携をとる。	
		②小学校(小学生)との交流を年1回以上実施する。	100%		100%	100%	A	②交流活動を今年度は中通小学校の児童と4回することができた。	○				

【園関係者評価】

イ: 自己評価は適正である。  
ロ: 自己評価は適正でない。  
ハ: 分からない。